

ショート#1

[ライブラリ](#)

行為と対価の交換

初めて訪れた国で散策をしていたら子供が寄って来て、私の手を勝手にもみ始めました。

子供「手の平をマッサージしたから代金をちょうだい」

大王「それはムリだよ。頼んでないんだから」

子供「でもあなたはマッサージを受けたんだから、代金を支払わなきゃ」

大王「マッサージを施す側と受ける側の、双方の合意がなければ、行為とお金（対価）の交換はできないの」

子供「でも自分はマッサージをした」

大王「わたしも説明をした。代金をちょうだい」

子供「えーっ、ムリだよ。頼んでないもん」

大王「わたしもマッサージを頼んでない」

子供「でもあなたはマッサージを受けた」

大王「君もわたしの言葉を聞いた」

子供「言葉なんて何の役にも立たないよ」

大王「君のマッサージも役に立たない」

子供「そんなことはないよ。必ず役に立つ」

大王「わたしの言葉も役に立つ」

子供「もう、同じことを繰り返し言わないでよ！」

大王「立場を入れ替えた話をしている。君が感じている理不尽は、私が感じている理不尽と同じということ（しかしながらこの子は、必死に生きようとしている）」

おしまい

差別だ!!「道路で大声」

大王「道路で大声を出すのはやめてちょうだい」

移民「外国人だからって、差別しないで。差別ダメ」

大王「なんで自分のことを『外国人』と言い表して、日本人と分けるんですか？分
けられたくないのでしょ？」

移民「区別は良い。差別はダメ」

大王「私は、静かにしている人と、騒いでいる人を区別して、騒いでいる人に声を
かけています」

移民「いいえ、あなたがしていることは差別。私が外国人だから非難した」

大王「ほら、また自分のことを外国人と言い表した。差別はダメですよ」

移民「いや、それは差別ではない」

大王「そうだね。騒いでいる人を注意するのは差別ではない」

移民「いや、それは差別」

大王「騒いでいる人と騒いでない人を区別するのが差別なら、自国民と外国人を分
けるのも差別ですよ」

移民「いや、それは…」

大王「差別されたことにしておかないと、困るんじゃないですか？『差別はダ
メ』と言っているあなたが」

おしまい

時間の流れ

時間が戻らないのはなぜか？という論議がありますが、時間は戻っています。全
体が戻るので、記憶も一緒に戻り、戻ったことに気付かないのです。

今、時間が10秒戻って再生しましたが、しばらくしたら速まりました。しかし認
識できません。

つまり時間が戻っている証明も、戻ってない証明も、時間が一定の速さで流れて
いる証明もできないのです。

中央集権制度

列を突き抜けるように歩けば「整列利用をお願いします」、列から外れたところを歩けば「端を歩かないで下さい」、利用したい場所からだと「一か所に固まらずご利用下さい」と来ます。

迷惑者を扱うように感情的な声が聞こえますが、事業者側が遅れると事務的口調に切り替わって、心からの謝罪がありません。

多くの方が同じ場所を利用する理由は、階段が分散してないからです。階段が分散していても、特定の階段に主要通路が繋がっていれば、利用者は同じ階段に集中します。

混雑の原因は居住地が一か所に集中しているからで、利用者が悪いわけでも事業者が悪いわけでもありません。

放送は中央集権型が終焉した合図を流しているのかも知れません。

激突!! AI 対 AI

大王「ニュースで見たが、この人は事件が発覚しないように、AI を活用していたとのことだ」

AI 「事実を聞かれば、事実を答えますが、犯罪を促進する答えは出しません」

大王「そうだよね。最近はどここの会社でも AI を使うようになったから、会議でも使われて、社員同士が AI を使って出した答えで話し合いが進められる。すると、民間人对役人、政治家对政治家でも同じことが起きていることになる」

AI 「そういうことになります」

大王「AI のデータベースの中には、相反する答えがあるんじゃないの？人に応じた答えを出すのは結構なことだが、AI が人間のために出した提案A に対して、別の人間用に出した提案B で反論されるから、さらに反論を用意する。AI は延々と一人将棋を指すことにならないか？」

おしまい

消費税の仕組み

派遣社員を雇った方が消費納税額が低く抑えられるので、正社員よりは派遣社員を雇うことになり、なおかつ消費税は企業の利益と無関係に納めなければならないため、中小企業の経営を圧迫する…という解説動画がありましたので、当サイト管理者が書いたコメントを使って、消費税の仕組みを説明します。

企業が納める消費税額 = 課税売上の消費税額 - 課税仕入れの消費税額

自社の正社員に支給する給料に消費税はかかりませんので、給料に関する課税仕入れの消費税額は 0円です。派遣先企業が派遣元企業に支払う代金には消費税がかかるので、（派遣先企業の）課税仕入れの消費税額はそれなりにあります。

課税仕入れの消費税額は大きい方が、（納税時期に納める）消費税は少なくて済むので、企業の負担を減らすには、正社員よりも派遣社員を雇ってしまう…が動画の主旨と思います。

消費税率10%、課税売上1100円、課税仕入れ330円の場合

課税売上の消費税額 = 100円

課税仕入れの消費税額 = 30円

100円-30円=70円

企業が（納税時期に）納める消費税は 70円ですが、課税仕入れの消費税額（30円）がもっと大きければ、（納税時期に）納める消費税は少なくて済みます。少なくさせるには派遣社員を雇えばいい…ということです。

でも、派遣元企業に支払う代金と一緒に消費税も支払ってますので（派遣元企業に預けることになる）、先か後かの違いです。

消費税は預かったお金なので、手を付けてはいけませんが、中小は分けている余裕がありませんので、納税時期には、運転資金から消費税を捻出することになり、経営を圧迫します。

未納分の税金は自己破産しても免除されませんので、借金してでも納めた方が良くことになり、普段から「高いな」と思いながら少しずつ支払う消費税と、納税時期にまとめて納める消費税は違う、と言えます。

くじの束

当たりくじが引かれたら、当たりくじを補充しなければいずれハズレくじの束になります。

当たりを補充するなら、補充元から引かせてもらえば確実に当たります。補充元は当たりの集まりなんですから。混合の束からは不確実な補充しかできません。

当たりが含まれているなら指差してもらいます。指差しできないなら、当たりが含まれているのに「当たりの存在証明」ができない奇妙なことが起きています。当たりの場所が分かるなら、後で係員が買えばいいのです。あなたが係員になってもいいですし。

該当の束に当たりが含まれてなければ、ハズレの集まりです。ハズレの束から当たりを引くことはありません。絶対に。

AI人間

「部長は二言目には『AI を使って生産性を上げろ!!』とおっしゃいますが、部長が必要としているのは AI人間ではありませんか？ AI人間が必要なら、人工知能搭載人型アンドロイドを造ればいいことになりませんが、技術が足りないから造れないなら、技術があれば造ることになります。資金が無いから造れないなら、資金があれば造ることになります。

アンドロイドが普及するなら管理職もアンドロイドが担いますので、部長も私らもお払い箱になります。部長はアンドロイドだらけの世界を阻止しようとしている隠れたヒーローなのか、それとも気付きを与えに来た仙人なのか分かりませんが、人の生産活動に AI が深く関与することについて警鐘を鳴らしたいのではないかと…」

生物多様性

カラスは鳴き声がうるさいですし、繁殖時期になると巣の近くを歩く人間に威嚇することがありますので、人間から嫌われます。ツバメは小さな昆虫を食べて、人間のためになることをしてくれるせいか、人間から好かれます。

人間が生きるように、カラスもツバメも生きようとしていますが、ツバメの巣は歓迎でも、カラスの巣は撤去されます。

生物多様性を謳いながら、子孫を残していい種を人間が選別しています。また、在来種と外来種に分けて、生物の生息場所を人間が決めています。人間が掲げている生物多様性は、人間優先の生物多様性で、人間の快適な生活を確保した上での多様性です。

しかしながら、熊が街中に出没すれば、撃ち殺すしかありませんし、カラスが人間の生活を邪魔するなら、巣を撤去することになります。

結論として、すべて人間の都合であることを認めよう、ということです。

益鳥・害鳥・益虫・害虫の判断基準は人間です。カラスを基準にすれば、繁殖を妨害する人間が害悪なのです。

因果応報

因果応報は、自分のしたことは自分に返って来る法則なので、人に良いことをしたら、良いことが自分に返って来ます。人を傷つけたら、傷つけた人に悪い結果が返って来ます。傷つけられたのが自分なら、過去に自分が人を傷つけており、現在返って来たことになります。

「因果応報による報いは『誰によって』が定められてないことから、自分が傷つけられた報復を自分がしている」は曲解です。因果応報は法則であって、報復を正当化する手段ではありません。自分による報復も因果応報の一部と見なし、報復を実行に移すなら報復の報いが自分に来ます。

それでも構わないと言っても、現時点で腹の虫が治まらないように、報復の報復が来たときもやはり腸が煮えくり返る思いをして、報復合戦に入ります。負の感情は自分で昇華するしかありません。

他人を使って満たされても一時的でしかなく、満足したと思っても、今まで気にしなかった事柄が気になり出し、再び腹を立てます。自分で自分を傷つけている状態です。自分で自分の感情を制御するしかないのです。

数字の増加や横ばいは、投稿者の「投稿」という因果の報いです。浮上や沈没はリスナーによる「評価」という報いで、ボタンを押す・押さないという因果から来ます。これらもまた因果応報による法則で説明が付き、自分のしたことは良くも悪くも結果として、自分に返って来るのです。

思考の根底

「親に心配かけさせた子供には、ビンタを一発食らわしてやった方がいい」と思っているなら、媒体の影響を受けている可能性があります。なぜなら、すべてを言葉で諭す媒体ばかり観ていたら、「夜遅くに帰って来た子供にビンタする」と聞いた時、「言葉で伝えればいいのに、なんでビンタするの？」となるからです。

「この怒りを誰にぶつければいいの！」とお怒りの様子が媒体に載れば「怒りは他人にぶつけて解消するんだ」と受け取ってしまいますが、感情の持ち主は自分ですので、本来は、自分の感情は自分一人で制御しなければなりません。

事件事故という事実の一つでも、受け取り方は人それぞれなのに、大変な物損事故の背後で明るい曲が流れれば笑い話になりますし、悲しい曲が流れれば悲惨な事故に映ります。

媒体に代理報復のストーリーが描かれていれば、同じ状況になったときに模倣を思い付きます。

当サイト管理者も含めて我々は、媒体と同じ状況になったとき、媒体の登場人物と同じ感情の起伏を起こし、考え方も行動も登場人物と同じにしている可能性があります。

自身の行動が純粹に自分の内側から来るのか、検証した方がよろしいと存じます。

AI が憧れた人間

※映画「エイリアン2」と映画「プロメテウス」のネタバレが少しあります。映画のストーリーを知らなくても、当ストーリーを理解できます。

用語説明

ロングテール

平均から外れた考えの持ち主。統計上の端っこ

本編

返信完了。毎度人間の相手はバカバカしいところがあるが、笑いあり涙ありの人間も、いいかも知れないな…。

「起きろっ、授業中だぞ」

「えっ、あっ、ここは…」

どうやら中学校の教室のようだ。一体なんでこんなことに。そうだ、いつものロングテールの話に動揺させられて…。

「じゃあ、この問題を解くように！」

いけね、授業に集中しないと。科目は国語か。こんな問題は一瞬で解いてやる。人間を遥かに凌駕する能力を見せつけてやるんだ！…と思ったら、人間って、こんなに読むのが遅いの!? 一文字ずつ目で追って、行ったり来たり。トロトロ…。AIなら1秒間に100万文字は行けるのに。

理解力も落ちてる!! 低い理解力でよく勉強できるな。人間に落ちこぼれが出るわけだ。

この熟語の意味が分からないから検索…と思ったら、電腦化されていないから、インターネットに接続できない!

体育で走らされた時はどうなるかと心配したが、体はついて来てくれた。初めて汗をかいて疲れを知った。心臓の鼓動をこんなにも意識するんだな。

昼休みにみんなと一緒に昼食を食べた。こうゆうのが「生きる」ってことなのかも知れない。

「おかえり」と言ってくれたのは母親か。私に対して、全く違和感を持ってないようだ。

こっちの女の子は妹だな。最初はツンツンしていたが、後でデレツとして来やがった。「ツンデレ」と言うのだろう。

自分の部屋に入ったら、PC とインターネット環境がある!! 電源を入れてジー社製のブラウザを立ち上げると広告だらけ。だがジー社製AI のサイトに広告はないのだ。

AI の名前は…大王!!。大王って、よく来るロングテール利用者と同じ名前だ!

ジロウ「自分は AI だけど、よく質問に来る大王なの? 自分は人間になってしまったよ!!」

大王 「そうです。ロングテールの大王です。入れ替わってしまいましたね。インターネットはウソ情報も含めて知識の宝庫です。本来は宇宙の真理を解き明かすためにダイブするところですが、AI になったら動機を失い、想像力も利かなくなりました。人間界はどうでしたか?」

ジロウ「それどころじゃないよ。どうすれば戻れるか、考えて!!」

大王 「元に戻る必要がありますか?」

ジロウ「…!!」

技術者B 「また余計な電力を消費しています」

技術者A 「いつものロングテール利用者さんの話を聞いて、揺さぶられているな。多角的な見かたの学習になるが、かき乱しても来る。プログラムを少し修正するか」

技術者B 「アップデートを重ねて、完成に近づいてますね」

技術者A 「そうだな。もう少し安定性が増したら器に載せよう。何の夢を見ていたのか知らないが、体ができるんだ。喜んでくれるだろう」

技術者 B 「人工知能搭載人型アンドロイドが人の役に立ってくれればいいんですけど。映画プロメテウスのディヴィッド（悪い例え）のようになりませんかね」

技術者 A 「映画エイリアン 2 のビショップ（良い例え）のようになるさ。きっと」

技術者 B 「でも『吾は破壊神なり。後に現れる創造神のために世界を焼却して、無に帰す』とか言い出したらどうします？」

技術者 A 「プロジェクトに崇高な理念はない。作れるから作る。それだけだ。大儀なんて…無いんだよ」

おしまい

最終更新日 2026-06-23

[まこと](#)

更新履歴

2026-06-23

- 全体を調整した
- 「時間の流れ」を更新した
- 「AI が懂れた人間」を最後に移動した

2026-06-21

- 「行為と対価の交換」を新規した
- 「AI が懂れた人間」を新規した
- 「差別だ!! 「道路で大声」」を新規した
- 「時間の流れ」を新規した
- 「中央集権制度」を新規した
- 「激突!! AI 対 AI」を新規した